

鉱物資源がもたらす問題

ーコンゴ民主共和国を例としてー

国際総合学類1年 202210756 吉田麻那

問題関心

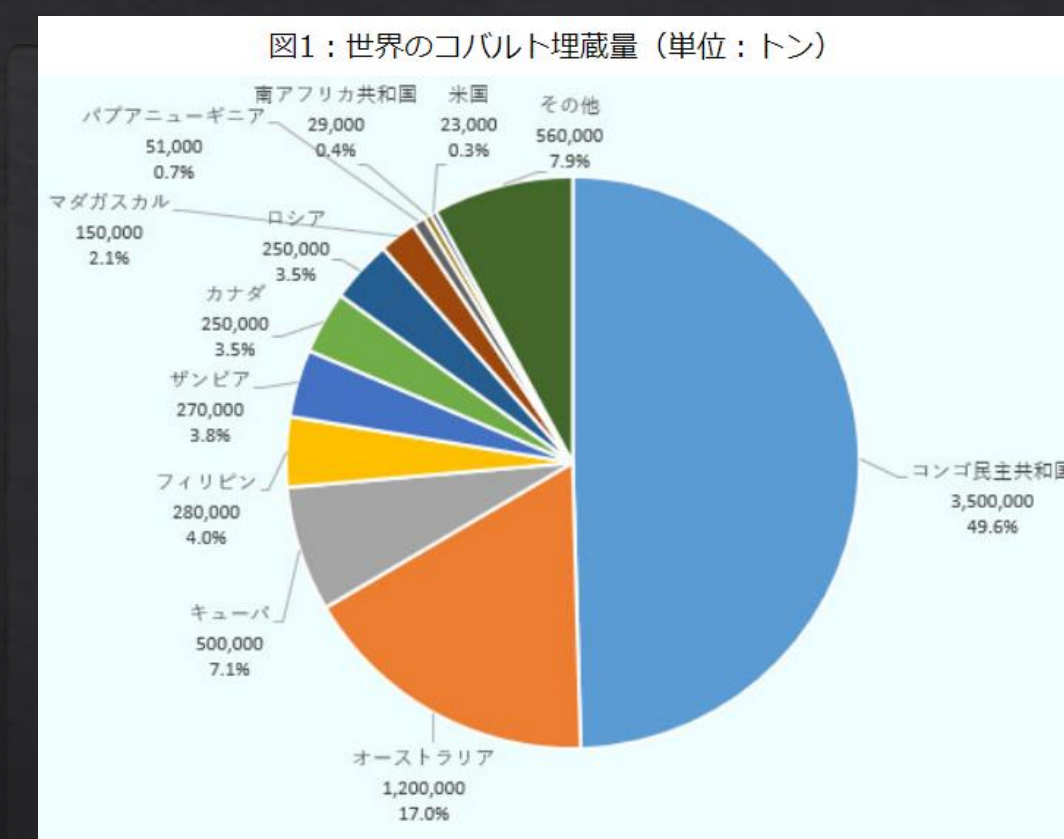
- ◇・世界には豊富な資源があるにも関わらずその恩恵を現地住民が受けられておらず、かえって資源が争いや社会の低迷をもたらしつつある(原, 2021)
- ◇・特に、今回例としたコンゴ民主共和国には金やコバルトなど世界で需要の大きい鉱物が多く埋蔵・生産されている一方で、1998年以降のコンゴ紛争では540万人という第二次世界大戦以降、世界最大の犠牲者を出している。
- ◇・国際社会も紛争の要因となっているのに、コンゴ紛争は「忘れられた戦争」と呼ばれるほど国際社会からの注目度が低いことにも問題意識を持った。
- ◇・鉱物資源が豊富なコンゴ民主共和国を例に挙げ、鉱物資源がもたらす問題についてまとめた。

コンゴ民主共和国概要

- ◇・2003年の人間開発指数は175か国中167位、人口の47%が40歳まで生きることができない(吉田2004)

- ◇・世界のコバルト埋蔵量のうち49.6%がコンゴ民主共和国に存在する(JETRO, 2018)

→コバルトは携帯電話やEVのバッテリーに使用されている。



(JETRO, 2018)

コンゴ民主共和国の歴史

- ◇・1878年のベルリン会議によって、ベルギーのコンゴ統治が認められる→コンゴに眠る豊富な資源をレオポルド2世が独占事業にし、現地住民に対する搾取が行われた(鶴田 2020)
- ◇・1961年にベルギーの植民地から独立した。しかし、政権についてモブツ大統領はその後30年間に渡り、独裁政権を構築した。(吉田, 2004)
- ◇・1997年にローラン・カビラ将軍が武装蜂起し、モブツ政権を崩したが、新政権発足からわずか15か月後の1998年8月、再び内戦が勃発する。(吉田2004)

- ◇・その後2002年に和平合意が結ばれたが、20年近く経過した現在でも民族間に対立が残る。

- ◇・130以上の武装勢力が現在も存在し、地下資源の産出地域である東部を中心に不法な採掘や密輸によって利益を得て活動している



(小西, 2018)

コンゴ民主共和国において鉱物資源がもたらす問題

◇① 鉱物資源をめぐる紛争

◇② 紛争鉱物に伴う女性の地位の低さ

◇③ 鉱物採掘のための危険労働や児童労働

① 鉱物資源をめぐる紛争

- ◇・ベルリン会議後のレオポルド2世によるコンゴの私有地化、モブツ大統領による独裁政権、政府組織、武装勢力など一貫して鉱物資源をめぐる争いが起きていることがわかる。
- ◇・現代社会における携帯電話の普及や電気自動車の導入はコバルトの需要を一層高め、コンゴ民主共和国における鉱物資源の採掘のインセンティブを高めている＝先進国に住む私たちも紛争に全く関係がないとは言えない。

②コンゴ民主共和国における女性の地位

- ◇・コンゴ民主共和国におけるジェンダーギャップ指数は0.575と146か国中144位(world economic forum 2022)
- ◇・初等教育修了率は男子67%女子66%とほぼ同じであるのに対して後期中等教育修了率は男子39%、女子17%と2倍以上の差がある。(unicef, 2021)
- 性的暴力による妊娠などが原因(JICA, 2017)
- ◇・携帯電話の保有率は男性53%に対して、女性は33%(unicef 2021)
- ◇・東部の紛争地帯、とくにキヴ州では戦争の武器として集団強姦や性的暴力が利用されている。→実際に2014年には、治安部隊の隊員135人と警察官76人が性的犯罪で有罪判決を受けているが、過去におきた政府部隊及び反政府勢力集団による集団強姦や性的暴力など過去に起きた犯罪の多くは処罰されていない。(英国内務省, 2017)
- 一概に鉱物資源が原因であると特定はできないが、鉱物紛争による社会インフラの整備の遅れは一因となっているといえる。

③ 鉱物採掘のための危険労働や児童労働

- ◇・お金を稼ぐためには事故や病気のリスクがある鉱山で働くことが必要

→余裕のない家庭にとって生活を維持するための最終手段となってしまっているまた、教育機会を逃した子供たちが大人になると、教育の再生産機能によって、次は彼らの子供たちが鉱山で働く可能性が出てくる＝悪循環(unicef, 2011)

・ルブンバシというコンゴの鉱業中心地の採掘人は安全基準の数倍に達する金属を摂取しており、尿検査をするとコバルトが基準値の43倍、鉛が5倍含まれていた。(Todd, C.Frankle 2016)

鉱物資源を発展のために用いるために

【現在行われている政策】

・携帯電話やEVバッテリーを製造する各企業が鉱物の生産元を調査し、武装勢力や政府機関の介入がないこと、児童労働が行われていないことを確認する。(松尾電機)というような企業単位での対策

・米国におけるドット・フランク法の制定(日本パルプ工業技術委員会環境WG 2012)

→現在行われているこれらの政策を強化・拡大していく

- ◇【提案】NGOやNPOなど外部の監視の目を取り入れる

・外部の監視の目を取り入れることで、不法な労働や危険労働が行われないようにすることができる。

・先進国側の人間が、現状を理解することで世界の関心度を高めることができる→過度なスマートフォンの買い替えを防ぐ、EVの是非を考え直すなど鉱物自体の需要をさげ、鉱物紛争が起これにくくすることができる。

- ◇ 鉱物資源をめぐる争いによって教育や医療、基本的人権の尊重などあらゆる分野で問題が山積みになっていることを痛感した。

- ◇ 問題解決のためにはコンゴ民主共和国のように問題が起こっている国だけではなく、先進国と呼ばれる国でも変えなければならないことがあるように感じた。

- ◇ 今回の学びを通して、今後は「性的暴力が1つの武力になっている地域における女性のエンパワーメントにむけて」「鉱物紛争を防ぐために先進国にできること」などをテーマに学んでいきたいと考えるようになった。

最後に

参考文献

・JETRO 日本貿易振興機構(ジェトロ)「中国のEVシフトに立ちはだかるコバルト供給問題 貿易統計などを基に分析」2018, 9, 28 <https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2018/5031cf98b023cbd4.html#:~:text=%E7%BB%9C%E5%9B%BD%E5%9C%B0%E8%B3%AA%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E6%89%80%EF%BC%88,%E3%82%8B%EF%BC%88%E5%9B%B3%E5%8F%82%E7%85%A7%EF%BC%89%E3%80%82> (参照: 2022.7. 13)

・吉田敦(2004)「鉱物資源問題と世界経済ーコンゴ民主共和国の「紛争ダイヤモンド」問題を例証としてー」商学研究論集第21号 p137-p168

・world vision「コンゴ難民の現状: 紛争の歴史やムクウェゲ医師の活動、支援状況を解説」https://www.worldvision.jp/children/crisis_21.html (参照: 2022.7. 14)

・鶴田綾(2020)「植民地責任をめぐるベルギー及び旧ベルギー領アフリカ諸国の動き」アフリカレポート58巻p96-101

・原貴太「原貴太の国際協カブログ」『資源の呪いとは？アフリカは天然資源が豊富なのに、なぜ発展できないのか』2021年4月19日<https://www.kantahara.com/entry/resource-curse-in-Africa> (参照2022-7-27)

・日本パルプ工業会技術委員会環境WG(2021)「ドット・フランク法と紛争鉱物規制 新たなCSRの課題」

・松尾電機株式会社「紛争鉱物への対応」<https://www.ncc-matsuo.co.jp/csr/materials/> (参照: 2022-7-22)

◇ World economic forum(2022)「Global Gender Gap report 2022 INSIGHT REPORT JULY 2022」

◇ Unicef「世界子供白書2021」<https://www.unicef.or.jp/sowc/data.html> (参照: 2022, 7, 15)

◇ 英国内務省(2017)「国別政策及び情報ノート コンゴ民主共和国: ジェンダーに基づく暴力又は暴力におびえる女性」<https://www.moj.go.jp/isa/content/930004002.pdf> (参照: 2022-7-22)

◇ 独立行政法人国際協力機構 JICA (2017)「コンゴ民主共和国 ジェンダー情報整備調査報告書」https://www.jica.go.jp/activities/issues/gender/reports/ku57pq00002hdvy2-art/drc_2017.pdf

◇ AMNESTY INTERNATIONAL (2016)「THIS IS WHAT WE DIE FOR」

◇ Unicef「世界の子供たち」2011年9月26日 https://www.unicef.or.jp/children/children_now/congodem/sek_congode_24.html (参照: 2022-7-22)

◇ Todd, C.Frankle 「ワシントン・ポスト」『事故で、汚染で、次々と倒れるコンゴの鉱山労働者…彼らを搾取する「巨大企業」の正体とは?』2016年10月29日 https://www.unicef.or.jp/children/children_now/congodem/sek_congode_24.html (参照: 2022-7-22)

◇ 小西まどか 2018-3-8「世界に知られていない悲劇: コンゴ民主共和国」<https://globalnewsview.org/archives/6485>

◇ (参照: 2022-7-27)